

令和8年度 阿見小学校 グランドデザイン

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

学校教育目標

豊かな心と健やかな身体をもち
確かな学力を身に付けた児童の育成

阿見町教育理念

学びあい 支えあい
心を育む人づくり

阿見町教育基本方針

- 子供も教師も元気の学校

めざす児童像

- やさしく
自分も相手も大切にする児童
- かしこく
自ら学び自ら考える児童
- たくましく
最後までがんばる元気な児童

スローガン

子どもが主役! 魅力ある学校づくり!

よく聴き 【傾聴・尊重・課題意識】
よく考え 【比較・吟味・選択・決定】
そして やってみる! 【試行錯誤・振り返り】

めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 活力に満ちた教職員
- 指導力のある教職員
- 子供の気持ちを理解できる教職員
- 明るく積極的な教職員
- 学び続ける教職員

理解・信頼・共有・協働

学校経営方針

指導の4C 対応の4S

- 1 学びに向かい、自ら学ぶ力の育成と学び合い・支え合い・高め合う集団づくり
- 2 質の高い教育を実現する環境づくり
 - 人的環境 : 教育は「人なり」「学び続けること」「自らを高めること」による資質・能力の向上
 - 物的環境 : 変化と多様性への対応 「令和の日本型学校教育」「教育DX・生成AI」への取組
 - 地域家庭環境 : 地域に開かれ地域とともにある学校 学校運営協議会との連携協力
- 3 持続可能な指導・運営体制を構築する働きやすい職場づくり
 - 自分磨きを可能にする働き方の推進 一人一人を大切にできる充実感のある雰囲気醸成

組織目標

認め合い、支え合い、互いの成長を目指して学び続ける児童の育成

豊かな心プラン

- 自己肯定感の育成
よさを認め生かす経営の充実
所属感もてる集団づくり
- 自己有用感の育成
共感的な人間関係づくり
子どもが主語となる活動の工夫
- 自己指導能力の育成
適切に考え、判断し、行動できる態度の育成
自己決定の場 支え見守る体制

【数値目標】

- ・自己肯定感の向上 90%
- ・自己有用感の向上 90%
- ・自己指導能力の向上 90%
- ・笑顔で生活 90%
- ・自らあいさつ 90%
- ・楽しい関わり 90%

確かな学力プラン

- 学びに向かう態度の育成
実態把握と課題設定の工夫
ゴールの明確化
- 自ら学ぶ力の育成
知識技能の定着・表現力を育む
既習事項・知識経験からの追究
- 「阿見小スタイル」の充実
関わり・つながり・協働的学び
探求的な学びの推進
個別最適化を図る場の工夫

【数値目標】

- ・阿見小スタイルの実践100%
- ・授業の満足度 90%
- ・授業中の主体的態度 85%
- ・探究的な学習活動 90%
- ・学習内容の定着 80%
- ・自主学習への取組 80%

健やかな身体づくりプラン

- 体力向上・運動習慣の確立
「楽しく学ぶ」体育授業の改善
授業・休み時間の運動量の確保
- 食育・健康教育の推進
計画的な指導・支援の継続
健康への自己管理能力の育成
- 健康な心身の醸成
SOSの出し方に関する指導
生命の安全教育の積極的推進
保護者の理解促進と相互連携

【数値目標】

- ・運動量の確保の工夫 95%
- ・体カテストA+B 40%
- ・早寝 早起き 朝ご飯 100%
- ・SOSの出し方理解100%
- ・生命の安全教育実施100%
- ・健康安全を意識 100%

特別支援教育プラン

- 一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場の充実
- 通常学級における合理的配慮および支援の拡充
- 家庭地域における特別支援教育への理解促進
- ユニバーサルデザインによる学習環境の整備

- 【数値目標】
- ・安心 安全に生活 85%
 - ・生活や学習の流れがわかる 90%
 - ・適切な学びの場の実施 90%

ウェルビーイングプラン

- 働きがいと働きやすさの実現をめざす組織的取組
- 教育DX・ICTの有効活用による業務の効率化
- 一人で抱え込まない体制作り(相談・協働)
- 自分磨きと3C(Chance Challenge Change)

- 【数値目標】
- ・ワークライフバランスを意識100%
 - ・相談できる人 場所がある 100%
 - ・業務を効率化を図っている 90%

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

- 地域人材・各種団体等との情報・行動連携による「学校運営協議会」の設置と運営
- 学校及び地域の課題の認識と共有 共通の目標・ビジョンによる児童の育成「熟議・協働・マネジメント」

令和8年4月導入